

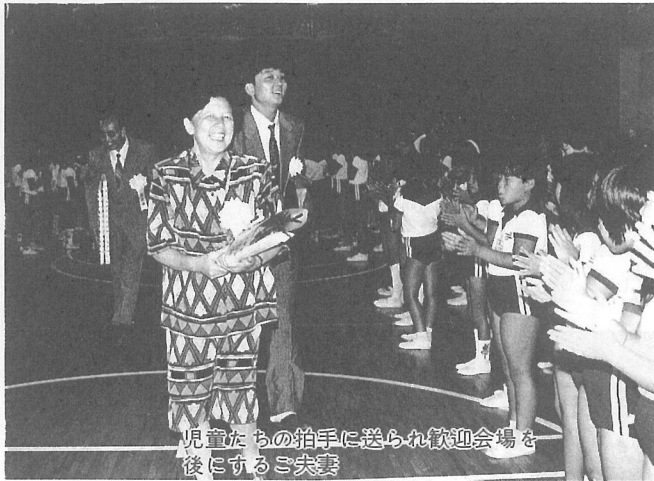
町役場を表敬訪問

母校横芝小では全校児童が歓迎

今度貴州テレビ局が制作する作品は、異郷の地にあってたび重なる戦禍の中で、たくましくも一途に生き抜いた一人の女性の生涯をドラマ化するもので、日本での取材は、出身地横芝町を中心に約一週間にわたり撮影を行いました。

この作品は、年内には中央テレビ局を通じ中国全土に放映されることになっています。

また訪日団は、取材のあいまをぬって町役場や岩瀬さんの



児童たちの拍手に送られ歓迎会場を後にするご夫妻



笑顔で出迎える實川町長

の母校横芝小学校（小川芳郎校長）等を表敬訪問しましたが、役場では河本議長ら町幹部と共に迎えた實川町長が、「岩瀬さんの偉業は町の大きな誇りです。良い作品をつくってください。」と激励、しっかりと握手を交わしました。

また小学校では全校児童が体育館に迎え、「かごめかごめ」「やぶるさと」など當時をしのばせる遊びや歌、日本の名琴の演奏などを披露しましたが、ご夫妻は感慨に目をうるませていました。

母の故郷を訪ねて

貴州省財經学院大学教授・鄧 宗岳



尊敬する横芝町の皆様、短い期間でしたが、大変お世話になりました。

七十余年前、御地に育てられた母が、人間社会に捧げるつもりで中国へ渡り、その地の発展のために生涯をかけたことは、今回の取材活動で多くの人達に知られたことと思います。

横芝町は景色がよく、人々の心もやさしく、経済の

進んだ町だという印象を強くうけました。

また横芝町に来て、いたるところで歓迎をうけ感激しました。関係の皆様は心から御礼申し上げます。

さらに町長様や議会議員の先生方が、中日友好に大変熱心なことにも感動しました。

母が万里の遠さを問わず中国に渡り、三十四年ぶりに郷里の土を踏みしめてから今年でちょうど三十四年目、今度は我々が訪日し皆様にお会いできましたのは、偶然というよりも何か特別の縁によるものであらうと思います。

今回の訪日は、お身内の方々のご努力と、貴州省人民対

外友好協会並びに貴州テレビ局のご協力によるものであり、つまり中日人民の友好のお陰で実現したものです。

我々はこの取材活動とテレビ放映を通じて、もっと多くの方々に母のことを知っていただき、末長い中日友好に役立てたいと考えています。

お世話になった横芝町の皆様、機会があれば貴州省へもおいでください。

両国の各領域での交流のためお互いに努力し、中日友好の花が永遠に咲き誇ることをお願いいたします。

※なお両親の職業を継がなかったことについては、当時の中国の混乱した窮状を救うには教育こそ最重要とする父母の勧めによるものであり、妹が医療の道へ進んだと話していました。

夢かない無上のよろこび

日本での取材の中心となった実妹片山志げさん（上町・89歳）の話

永年の夢がかなって、こんなうれしいことはありません。長生きして本当に良かった。

たと思っています。

姉夫婦が亡くなってからはずっと音信が途絶えていた

のですが、妹の私が生きているのがわかって、一気に話がまとまったようです。

映画の制作については、これまで苦労した姉が報われると感激しています。